

(別記)

星野地域水田農業推進協議会 水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

星野地域の水稲は、その生産基盤が山あい広がった棚田状の水田が多く、基盤整備はほとんど進んでいない。機械の保有も一農家一台という状況の中、効率化・省力化が重要な課題となっている。又、栽培効率の悪さや高齢化から遊休地化の傾向が強まっており、地形条件・営農条件等不利な水田については将来荒廃する可能性があることから、荒廃防止に対する指導が必要である。

水田農業の主力は水稲でありその多くが飯米用であるが、緑花木の作付が盛んな地域や本協議会が振興作物として位置づけているイチゴやなす等の野菜類、菊や切枝（花）等の花卉類の作付についても、普及・拡大に務め、農家の所得向上を図る必要がある。

2 作物ごとの取組方針

星野地域内の約130ha（不作付地を含む）の水田については、適地適作を基本として、耕作放棄地を含む遊休地化を防止するとともに、産地交付金を有効に活用しながら作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

需要に応じた生産及び適地適作を基本とした良食味品種の作付拡大を図るため、共同育苗の推進及び種子更新の完全実施を進める。生産コストの低減や省力化を図るため、機械の共同化や農作業の受委託、担い手への農地集約を図りつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

当地域は地形条件・営農条件などの悪条件により栽培効率が悪く、安定的な所得向上は見込めないため、非主食用米の取組は推進しない。

(3) 大豆

大豆については現行の作付面積を維持する。

(4) そば

そばについては現行の作付面積を維持する。

(5) 野菜、花き

①イチゴ、なす、トマト、菊、キュウリ、チンゲンサイ

中山間地域の特性を活かした振興品目とし、県内外の市場や直売所等へ販売強化を図るとともに、産地交付金を活用し担い手による作付を支援することにより、平成25年度現状3.3ha（イチゴ1.2ha、なす0.9ha、トマト0.3ha、菊0.7ha、キュウリ0.1ha、チンゲンサイ0.1ha）を目標年の平成28年度には4.6ha（イチゴ2.0ha、なす1.0ha、トマト0.4ha、菊0.8ha、キュウリ0.2ha、チンゲンサイ0.2ha）に作付面積を拡大する。

②こんにゃく、ヤーコン、アピオス、ベチバー、ミシマサイコ

生産団体や営農組織等と連携し、星野地域の新規振興品目として奨励するとともに、産地交付金を活用し担い手による作付を支援することにより、平成25年度現状0.3ha（こんにゃく0.1ha、ヤーコン0.1ha、アピオス0.1ha、ベチバー0ha、ミシマサイコ0ha）を目標年の平成28年度には2.0ha（こんにゃく0.5ha、ヤーコン0.5ha、アピオス0.3ha、ベチバー0.2ha、ミシマサイコ0.5ha）に作付面積を拡大する。

③その他野菜、花き

中山間地域の条件を活かした花き（ツツジ類、切枝類、茶等）についても産地交付金を活用し、収益性の高い農業経営を目指し、作付面積の維持・拡大を図る。

また、その他野菜についても産地交付金を活用し、水田の有効活用と女性・高齢者の所得向上を目指し、作付面積の維持・拡大を図る。

(6) 不作付地の解消

担い手を中心に、星野地域の振興作物であるナス、イチゴ、なす等の普及拡大を図るとともに、女性・高齢者については、水田の有効活用のため野菜等の少量多品目栽培の推進を行い、不作付地の解消に努める。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 27 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	66.4	76.0	81.0
加工用米	—	—	—
備蓄米	—	—	—
米粉用米	—	—	—
飼料用米	—	—	—
WCS用稲	—	—	—
麦	—	—	—
大豆 (基幹作)	0.1	0.1	0.2
飼料作物	—	—	—
そば	0.1	0.1	0.1
なたね	—	—	—
その他地域振興作物	45.2	45.8	48.8
野菜類	3.5	4.1	6.0
イチゴ	1.2	1.6	2.0
なす	0.9	0.9	1.0
トマト	0.3	0.3	0.4
キュウリ	0.1	0.1	0.2
チンゲンサイ	0.1	0.1	0.2
こんにゃく	0.1	0.1	0.5
ヤーコン	0.1	0.3	0.5
アピオス	0.1	0.1	0.3
ベチバー	—	0.2	0.2
ミシマサイコ	—	0.3	0.5
その他野菜	0.1	0.1	0.2
花き・花木類	41.7	41.7	42.8
菊	0.7	0.7	0.8
ツツジ類	24.0	24.0	24.0
切枝類	12.0	12.0	12.5
茶	5.0	5.0	5.5

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 27 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)
1	イチゴ	担い手による作付	ア	実施面積	1.2ha	1.6ha	2.0ha
2	なす	担い手による作付	ア	実施面積	0.9ha	0.9ha	1.0ha
3	トマト	担い手による作付	ア	実施面積	0.3ha	0.3ha	0.4ha
4	菊	担い手による作付	ア	実施面積	0.7ha	0.7ha	0.8ha
5	キュウリ	担い手による作付	ア	実施面積	0.1ha	0.1ha	0.2ha
6	チンゲンサイ	担い手による作付	ア	実施面積	0.1ha	0.1ha	0.2ha
7	こんにゃく	担い手による作付	ア	実施面積	0.1ha	0.1ha	0.5ha
8	ヤーコン	担い手による作付	ア	実施面積	0.1ha	0.3ha	0.5ha
9	アピオス	担い手による作付	ア	実施面積	0.1ha	0.1ha	0.3ha
10	ベチパー	担い手による作付	ア	実施面積	0 ha	0.2ha	0.3ha
11	ミシマサイコ	担い手による作付	ア	実施面積	0 ha	0.3ha	0.5ha

※「分類」欄については、要綱（別紙 11）の 2（5）の ア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。
（複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入して下さい。）

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組